

新除草・調節剤

サターン乳剤 ベンチオカーブ除草剤

試験名：B-3015乳剤

(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社
対象作物：芝生

性状・作用特性：本剤はチオールカーバメート系のS-(クロールベンジル)N・N-ジエチルチオールカーバメートを50%含有する乳剤である。

本剤は、イネ>ヒエ間の選択殺草性の高い薬剤として、水稻関係には単剤の粒剤(ベンチオカーブ粒剤)混合剤として、ベンチオカーブ・CNP(サターンM粒剤)、ベンチオカーブ・シメトリン(サターンS粒剤)が広範囲に使用されている。本剤も水稻関係では、乾田直播、湛水直播、畑苗代では登録され、広く使用されている。また、レタスの植付前、マルチ被覆前処理で実用化の判定を得ている。今回芝生に適

用拡大された。

本剤は、ノビエ、メヒシバ、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ等禾本科雑草に卓効を示し、ツユクサ、スベリヒユにも効果が高い。ベンチオカーブは、雑草の根部及び幼芽部に吸収され、強力に抑制作用を現わし、枯死にいたらしめる。

毒性・人畜毒性：急性経口毒性はマウスLD₅₀ = 560mg/kg ラットLD₅₀ = 1300mg/kg であり、魚毒(コイ)はTLM48h = 3.6ppmである。

使用法：芝生(高麗、野芝)では、スズメノカタビラ、メヒシバ等、雑草発生前～発芽時に10アール当たり1200ccを300ℓの水で希釈して均一に散布する。雑草が発生している場合に散布しても、効果は劣るので、注意を要する。芝生の高麗、野芝には、薬害の心配はない。ペントグラスには、現在検討中なので使用はさけること。

○ む す び

以上わが国の茶園における雑草の発生生態とその防除法に対する従来の考え方、さらには最近における茶園での除草剤の検討結果等について概説してみた。今後ますます茶園は増加する気配を示しているのに対し、労働力はむしろ減少傾向を示し、管理はさらに省力化を余儀なくされるであろう。従来の敷わら、敷草といったマルチングが万全を期し得なくなる現状のなかで、有効かつ安全な除草剤の出現が望まれるところである。

1970年版 除草剤使用基準

愈々発刊!

発行が大変おくれ、まことに申しわけありませんでした。400部の限定版でありますので、売り切れないうちに、早めにお申し込み下さい。

発行所 植調編集印刷事務所
東京都港区芝愛宕町1-3
全国農村教育協会内